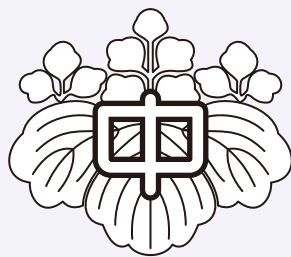


令和5年度



山梨大学教育学部附属中学校

学 校 要 覧



校 歌

作詞 土岐善麿
作曲 平井康三郎

一、連山桜の雲にかすみ

清流紅葉の にしきひたせり

仰げ富士を 真理は常に

高くかがやき ゆるぐことなし
春あり秋あり 学園たのし

二、新緑希望の 意気にあふれ

青桐葉風の 影もすがしや
挙げたえず 文化の広場

努力かさねて たゆむことなく
師により友らと 学業正し

三、郷土のほまれを 受けし身には

城北ゆかりの 天地ゆたけし

果たせ今ぞ 使命はあらた

若き力を 共に集めて
われらは立つなり 理想の上に

山梨大学附属中学
われらの道は ここにあり

(昭和27年3月制定)

山梨大学教育学部附属中学校

〒400-0005 山梨県甲府市北新一丁目4-2

電話 職員室 055-220-8310

事務室 055-220-8300

F A X 055-220-8784

E-mail infowgr@yamanashi.ac.jp

URL <http://www.wgr.yamanashi.ac.jp/>

本校の性格と任務

本校は、教育基本法及び学校教育法第45条に基づいて、中等普通教育を推進するとともに、国立大学法人法による山梨大学教育学部の附属学校として、次の各項を特別の任務とする。

- 1 教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、中学校教育の理論及び実際に関する研究並びにその実験・実証に寄与する。
- 2 教育学部の教育実習計画に基づき、教育実習生の授業観察、教育実習の実施及び指導に当たる。
- 3 本校の教育研究の成果を広く公開し、また、公立学校の研究や現職教育に協力して、県下の中学校教育の推進に寄与する。

学校沿革概要

- S22 6・3制による国立新制中学校として、焼け残った師範学校の音楽室・講堂を仮校舎に創立発足する。
- S23 山梨師範学校寄宿舎の移転。第1回公開研究会。
- S24 山梨大学設置に伴い、山梨大学山梨師範学校附属中学校となる。
- S26 山梨大学学芸学部附属中学校となる。
- S27 校歌、生徒会歌制定。
- S29 甲府市北新町（旧63部隊跡）に校舎落成。教育目標制定。
- S30 山梨大学規定により附属小中に教頭を設ける。
- S31 増築校舎（合併教室）竣工。
- S33 制服制定。
- S34 特別教室（理科室、同準備室、美術室、家庭科室、職業工作室）竣工。
- S35 校旗樹立。放送室竣工。
- S36 プール竣工。
- S38 体育館（含付属建物）竣工。
- S40 特別教室（音楽室、同準備室）竣工。新1年4学級となる。努力目標制定。
- S41 増築鉄筋校舎4教室竣工。山梨大学教育学部附属中学校となる。
- S42 運動場整備。
- S43 普通教室及び付属教室（鉄筋3階建）校舎竣工（12教室）。
- S44 本部及び付属教室（鉄筋3階建）校舎竣工。
- S45 体育館、L・L教室設置。
- S46 音楽室増築、技術金工室、教官室、校長室、CCTV教室竣工。前庭整備。理科園新築。校地内道路舗装。
- S47 岩石園設置及び教官室周辺の庭園整備。運動場拡張整備。外柵設置。校地内道路舗装。
- S49 校舎北側溝設置。音楽室周辺舗装。普通教室用暗幕設置。
- S50 桐の木（50本）植樹。教頭を副校長と称す（10月1日）。
- S51 テニスコートの新設移転。
- S52 体育館にステージ増設。ピアノ設置。
- S53 体育館に暗幕、どん帳を設置。
- S54 関附連山梨大会開催。
- S55 放送施設カラー化完成。屋体への渡り廊下竣工。
- S56 体育館一部補修。ガスストーブ設置。
- S57 保健体育科授業分析装置一式設置。受水槽（30トン）新設。
- S58 地震対策として転倒防止設備を強化。清掃用具ロッカー設置。
- S59 普通教室の耐震工事施工。男子トイレ節水装置設置。東門整備工事施工。
- S60 卒業記念品として「校歌の碑」設置。
- S61 管理棟耐震、特別教室外壁塗装工事。校歌メロディチャイム新設。関附連山梨大会開催。卒業記念品として「努力目標の碑」設置。
- S62 PC12セット（+教師用1セット）新設。
- S63 PC11セット新設。技術室天井コンセント配線工事。
- H1 桐華館竣工（11.13式典）。
- H2 全附連関東・東海・北陸指導者研究大会開催。
- H3 焼却炉の新設、電話ファクス設置。紅白幕、演台、どん張設置。
- H4 PC教室増設。学校の位置の碑設置。教官室防水工事。
- H5 屋外用ワイヤレスアンプ一式設置。
- H6 第1PC室のインターネット接続工事。
- H7 通産省・文部省より100校プロジェクト校指定（9年）。陶芸釜（電気式）設置。体育館防球ネット設置。
- H8 開学50周年記念式典、同窓会総会・祝賀会開催。ガス冷暖房に切り替え。別館内外装改修工事。岩石園プレート修理。
- H9 小・中学校プール新築工事開始。拡大コピー機、保健室用PC、図書室用PC設置。
- H10 山梨大学教育人間科学部附属中学校となる。小・中学校プール竣工。教育実習生控室整備。第1PC室、第2PC室、図書室の設備充実。校内ネットワーク環境の充実。
- H11 文部省より「研究開発校」の指定を受ける（～13年）。
- H12 テニスコート補修。光ファイバー設置。生徒用机、椅子新調。物置設置。関附連山梨大会事務局校。駐輪場新設。
- H13 普通教室内装工事。生徒用トイレリフォーム。前庭舗装。イントラバケツ導入。体育館暗幕新調。床改修及びライン引き直し。赤煉瓦館竣工。
- H14 普通教室加湿器等整備。
- H15 普通教室扇風機等整備。体育館放送機材一式整備。渡り廊下施設整備。
- H16 前庭時計の設置及び物置設置。PC室機器更新。階段手すりの設置。
- H17 防犯システム工事（校内一斉通報システム）。体育館床補修、耐震工事。照明器具設置（体育館への通路、裏門入口）。
- H18 防球ネット取り付け。
- H19 グラウンド北ネットフェンス取り付け。緊急地震速報に対する放送設備工事。校内放

- 送配線取り付け。職員ＰＣ等の充実（１人１台ＰＣ）、テント購入。
- H20 西門雨水桝設置工事。グラウンド北体育倉庫取り壊し及び物置設置。グラウンド南側石灰用物置設置。岩石園プレート付け替え。主幹教諭を置く。少年議会事務局校。
- H21 特別教室棟（技術科室、美術室、理科室、音楽室、保健室、放送室、図書室、第１ＰＣ室、全体教官室）改修。体育館床改修。桐華館地下改修。各階に冷水器購入。
- H22 グラウンドの砂場の整備。体育倉庫を相談室に改修。１学年教官室の拡張。校長室に会議用のテーブル・椅子設置。ホームページ改訂。
- H23 普通教室の空調設備工事。普通教室・特別教室に加湿器購入。グラウンドのスタンド補修。体育館への階段補修。国語研究室整備。
- H24 顕微鏡等の理科備品整備。デジタル身長体重計、ワイヤレスモニター購入。生徒用印刷機設置。全体教官室・英語研究室整備。
- H25 体育館緞帳・暗幕設置。体育教官室・生徒相談室エアコン設置。普通教室黒板白板張り替え。来客用靴入れ新調。防災倉庫新設。タブレットＰＣ導入。理科備品購入。社会科研究室整備。生徒玄関すのこ新調。
- H26 第１ＰＣ室電子黒板設置。生徒用ロッカー新調。体育館冷水器設置。中央階段手摺設置。数学科研究室整備。体育館パイプ椅子160脚新調。
- H27 理科研究室・家庭科研究室整備。社会科研究室用机・椅子。家庭科室生徒用丸椅子16脚。校庭電波時計設置補助。多目的トイレ設置。
- H28 山梨大学教育学部附属中学校となる。音楽研究室整備。全体教官室北側壁への壁掛内照長波時計設置補助。
- H29 開学70周年記念特別講演会開催。美術研究室整備。生徒玄関庇補修工事。３年学年教官室書棚等整備。
- H30 図書館司書室書棚整備。防犯ビデオ追加。１・２年学年教官室書棚等整備。美術室電子黒板設置。
- H31(R1) 第２ＰＣ室機器更新。教育相談室電話・ＰＣ設置。
- R 2 体育館竣工（緞帳設置）。グラウンド排水溝補修整備。図書室机・椅子・大型モニター設置。Google社 Google Workspace for Educationの導入。移動用ＰＣ（Chromebook）40台購入。文科省G I G Aスクール事業校内無線L A N拡充設置。
- R 3 文科省G I G Aスクール事業タブレット端末導入（469台）。
- R 4 COVID-19感染拡大防止対策のため空気清浄機普通教室設置。（12台）

附属四校園の教育活動を貫く育成を目指す「子ども像」

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし、解決に努力する積極性・先見性・創造性に富んだ子ども

学校教育目標

- 学ぶことに誠実な生徒
- 健康で情操豊かな生徒
- 自らの可能性に積極的に挑戦する生徒
- 互いの良さを認める生徒

学校経営の方針

- 安全な教育環境と安心して生き生きと学べる学校づくり
- 先進的教育を実践し、創造性・学びに向かう力を育成する学校づくり
- 保護者との信頼関係、地域社会や専門機関と連携、活気溢れる学校づくり

学校経営の重点

- (1) 安全管理・安全指導の徹底および感染症対策の徹底
- (2) インクルーシブ教育・人権教育の重視
- (3) I C Tの良さを生かした教育の推進と令和の日本型学校教育（個別最適な学び・協働的な学び）の促進
- (4) 学びのプロセスモデルによる創造性、学びに向かう力の育成
- (5) 探究サイクル『「きりのは」で育む未来を拓く子ども』を中心にしたカリキュラムデザイン開発
- (6) P T Aや外部機関との連携の充実
- (7) 働き方改革による意欲溢れる教職員の育成

校内研究

【研究主題】 新たな価値を創造する生徒の育成《３年計画の２年次》
～「主体的な学び」のプロセスモデルを生かした実践を通して～

◆研究の概要

「新たな価値を創造する生徒」とは、「創造性」を身につけた生徒である。本校で考える「創造性」とは、「自ら課題を見出し、その課題に関わる事象について自分なりに新たな意味や考え方を見出すことで解決する資質・能力」である。「創造性」を発揮して見出された「新たな意味や考え方」は、課題を解決するものであり、自分自身や周囲の人々の人生や社会全体をより豊かに、よりよくする「新たな価値」をもつものである。

「創造性」を資質・能力の３つの柱に沿って整理すると、「課題の解決に必要な知識・技能」（知識及び技能）、「自ら見出した課題の解決に向かって、新しい知見や技術革新を取り入れながら、これまでに得た知識や経験を結びつけ、新たな意味や考え方を見出す思考力、判断力、表現力」（思考力、判断力、表現力等）、「自ら課題を見出し、その解決に主体的に取り組もうとする態度」（学びに向かう力、人間性等）となる。

本研究では、「創造性」を育むためにこれまでの研究の成果を踏まえつつ、次の２点に重点的に取り組む。

- (1) 生徒自身に「主体的な学び」のプロセスモデルを意識させながら、学びに向かわせる手立てについて明らかにすること。
- (2) 「創造性」のうち、「思考力、判断力、表現力等」として整理された「自ら見出した課題の解決に向かって、新しい知見や技術革新を取り入れながら、これまでに得た知識や経験を結びつけ、新たな意味や考え方を見出す思考力、判断力、表現力」を育成する手立てについて、「知識及び技能」、「学びに向かう力、人間性等」の育成との関連を意識しながら明らかにすること。

◆1年次の研究

各教科における「創造性」の定義づけを行い、各教科の目標の中でどのように位置づけられるのかを考えた。

「主体的な学び」のプロセスモデルについては、生徒が学習内容に没頭し、自らの課題を見出せるようにするために、「目標設定」の学習過程における効果的な指導や教材のあり方について考えた。また、「振り返り」の学習過程において、ICTを活用して、生徒が自分自身や仲間、教師、教材等と対話しながら自らの学びを振り返り、課題解決に向かって自らの学びを調整できるよう指導・支援を行った。

各教科における「新たな意味や考え方を見出す思考力、判断力、表現力」を育成するために各教科の特性を生かした学習活動を仕組んだ。

◆2年次の研究

昨年度の課題を踏まえ、「主体的な学び」のプロセスモデルにおける各「学習過程」とそこで活用される「学習方略」を言語化し、生徒と共有することを目指したい。

各教科における「新たな意味や考え方を見出す思考力、判断力、表現力」を明確にした上で、1年次に挑戦した、その育成のための手立てを整理したり、新たな手立てを考えたりしたい。また、「新たな意味や考え方を見出す思考力、判断力、表現力」を見取るための評価を工夫し、その評価をもとに教師が指導の改善を行うことができるようにしたい。

在籍生徒数

5月1日現在

学年 組	1 学年				2 学年				3 学年			
	男	女	計	家庭	男	女	計	家庭	男	女	計	家庭
1 組	14	22	36	34	18	17	35	33	17	18	35	34
2 組	15	21	36	31	18	18	36	33	16	19	35	35
3 組	15	21	36	34	18	18	36	35	17	19	36	36
4 組	15	21	36	30	17	18	35	35	17	19	36	35
計	59	85	144	129	71	71	142	136	67	75	142	140

全校生徒：男子197名、女子231名、合計428名（家庭数405戸）

年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	道徳	特活	総合	総数
1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

日課表

				平 常 (50分授業)	A短縮 (45分授業)
生	徒	登	校	～ 8:25	～ 8:25
朝	の	会		8:35 ～ 8:45	8:35 ～ 8:45
1	校	時		8:50 ～ 9:40	8:50 ～ 9:35
2	校	時		9:50 ～ 10:40	9:45 ～ 10:30
3	校	時		10:50 ～ 11:40	10:40 ～ 11:25
4	校	時		11:50 ～ 12:40	11:35 ～ 12:20
昼		食		12:45 ～ 13:05	12:25 ～ 12:45
昼	休	み		13:10 ～ 13:25	12:50 ～ 13:05
5	校	時		13:30 ～ 14:20	13:10 ～ 13:55
6	校	時		14:30 ～ 15:20	14:05 ～ 14:50
清		掃		15:25 ～ 15:40	14:55 ～ 15:10
帰	り	の	会	15:45 ～ 16:00	15:15 ～ 15:30
下		校		16:30	16:30

【5校時の日】＊原則として火曜日

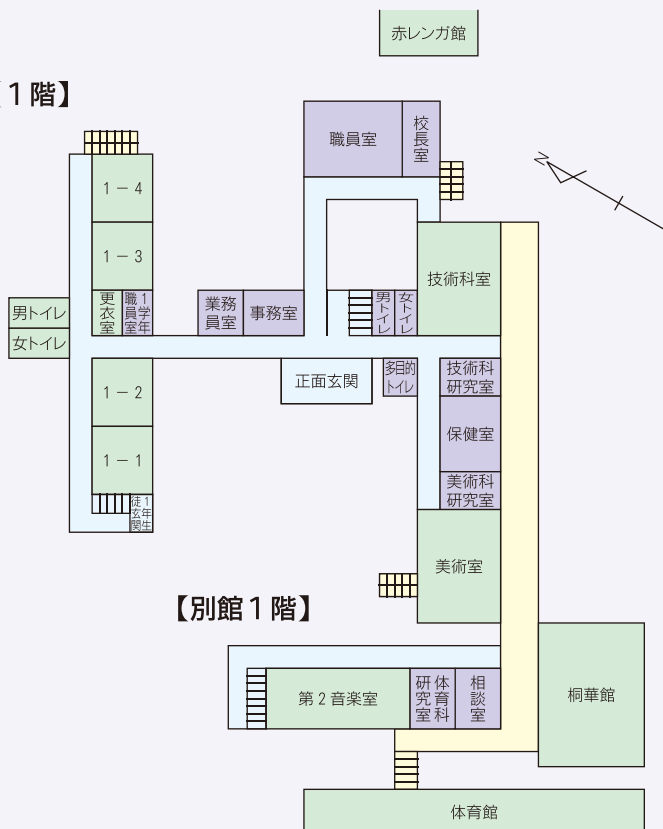
				平 常 (50分授業)	A短縮 (45分授業)
5	校	時		13:30 ～ 14:20	13:10 ～ 13:55
清		掃		14:25 ～ 14:40	14:00 ～ 14:15
帰	り	の	会	14:45 ～ 15:00	14:20 ～ 14:35
下		校		16:30	16:30

職員組織編制（○：教科主任）

職名・担当	氏 名	教科等	主な校務分掌等
校 長	早 川 健	数学	学校経営
副 校 長	萩 原 喜 成	数学	学校経営， 学校運営
主 幹 教 諭	奥 田 陽 介	社会	教育ボランティア担当
1 学 年 主 任	那 須 正 和	国語	賞状担当
1 学年副主任 1 年 1 組担任	萩 原 崇	○数学	教育実習主任， 学年生徒指導担当， 情報担当
1 年 2 組担任	赤 池 夏 実	○音楽	特別支援教育コーディネーター， 道徳副主任
1 年 3 組担任	中 沢 公 士	理科	交通安全主任， 研究推進委員
1 年 4 組担任	長 沼 裕 樹	保体	体育主任， 防災副主任
1 学 年 教 務	黄 大 地	英語	視聴覚副主任
1 学 年 教 務	深 沢 修 平	社会	
2 学 年 主 任	関 原 寛 明	○英語	防災主任， S E L F 副主任， 情報副主任
2 学年副主任	深 沢 拓 矢	理科	生徒指導主事， 毒物・劇物等管理担当
2 年 1 組担任	進 藤 秀 俊	○社会	研究主任
2 年 2 組担任	川 口 照 平	○保体	視聴覚主任， 後期生徒会主任
2 学 3 組担任	古 屋 美那実	○美術	教育相談主任， 道徳副主任， 研究推進委員
2 年 4 組担任	小 松 健 一	数学	環境整備主任， 教育実習副主任
2 学 年 教 務	内 藤 セツ子	国語	図書館主任， 賞状担当
3 学 年 主 任	若 尾 大 樹	○国語	
3 学年副主任	小 松 琢 朗	数学	進路指導主事， 学年生徒指導担当， 研究推進委員
3 年 1 組担任	森 澤 貴 之	○理科	情報主任， S E L F 主任
3 年 2 組担任	青 柳 敬 大	○技術	前期生徒会主任， 情報担当
3 年 3 組担任	米 山 卓	社会	道徳主任
3 年 4 組担任	久保寺 悠	英語	特別活動主任， キャリア教育主任， 学級活動主任， 研究副主任
3 学 年 教 務	小 林 早 希	保体	環境整備副主任
非 常 勤 講 師	向 山 美和子	家庭	
非 常 勤 講 師	Richardson Margaret Mariko	英語	（ 1 学年 A L T ）
非 常 勤 講 師	Fitzpatrick Paul James	英語	（ 2 学年 A L T ）
非 常 勤 講 師	Wilkinson Peter James	英語	（ 3 学年 A L T ）
スクールカウンセラー	春 日 徹 男		
養 護 教 諭	望 月 志保美		保健主事
図 書 館 司 書	古 屋 久 美		
事 務 主 任	橋 本 泰 秀		
事 務 補 佐 員	水 上 恵 美		
事 務 員	斎 藤 きみ江		
業 務 員	橘 田 昇		
業 務 員	保 坂 哲 夫		
学校医(内科)	小 鹿 学		
学校医(歯科)	笠 井 隆 司		
学校医(眼科)	山 西 政 昭		
学校医(耳鼻科)	橘 田 豊		
学 校 薬 剤 師	植 松 俊 彦		

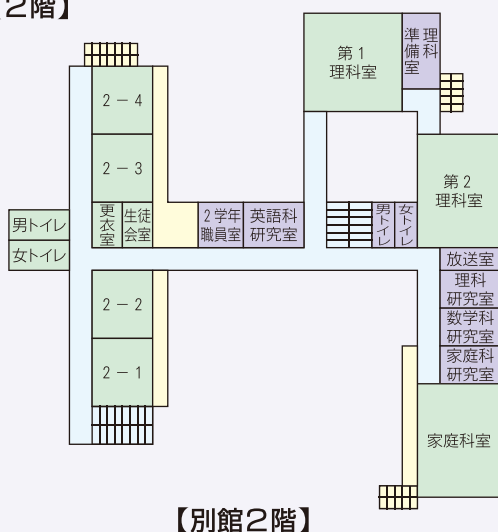
校舎配置図

【1階】



【別館1階】

【2階】



【別館2階】

【3階】

